

交通事業本部 交通第 2 部  
技術士（建設・総合監理） 青地 知也

このたび、御蔭様で私どもは、「釧路道路事務所管内 橋梁修繕計画策定業務」におきまして、平成 21 年度 北海道開発局優良工事等表彰（局長表彰）を受賞させて頂き、真にありがとうございました。この場を御借りて、関係各位に対しては心から御礼申し上げます。

まずは、当該業務について簡単ではありますが、紹介させて頂きます。

国道に架かる橋梁について、通常使用時は元より、災害時における使用性の確保が重要な課題です。また、橋梁の長寿命化も管理者にとっての重要事項です。

このような背景を念頭に、本業務では釧路道路事務所が所管する 113 橋について既存資料を基に、現在の修繕履歴状況を整理し、実現的な橋梁修繕計画の策定を行うことを目的としております。

まず、緊急に対策が必要な橋梁に対する修繕計画として、橋梁診断結果から「対策区分 C」と判定された橋梁に対して損傷自体の度合の他に、「リダンダンシー確保」、「ネットワーク管理」という観点を踏まえ、路線重要度、緊急輸送路、迂回路の有無、第三者被害などを考慮し、補修優先順位を決定しました。

また、橋梁診断の「対策区分 B」を対象に、交通量や橋梁規模、鋼橋とコンクリート橋など、橋梁の特徴や架橋環境ごとに釧路管内の過去の実績に基づいた劣化損傷の進展を予測しました。これを基に各橋梁の余寿命を算出し、損傷が「対策区分 C」になりやすい順位を判定しました。これに上記でも検討した「リダンダンシー確保」、「ネットワーク管理」の観点および、保有耐震性能などを考慮し、予防保全として補修すべき橋梁の優先順位を決定し、将来に向けた橋梁修繕計画を策定しました。

合わせて、河川と国道の近接箇所において降雨時に道路災害の発生を未然に防ぐ目的で、一般国道 240 号、392 号について河川洗掘調査を行いました。

本業務においては、地域の実情をもとに、一つ一つ検討手法を提案し積み上げていったコンサルティング全体が高く評価されたと感じております。

本業務においては管理技術者として担当させて頂きましたが、本業務の実施にあたり、ご指導頂いた釧路開発建設部釧路道路事務所の皆様に御礼申し上げます。また、高い技術力を表現豊かなプレゼン力で業務を担当した津田将史・塚田倫仁さん、業務隅々までご指導頂いた今村部長に、この場を借りて御礼申し上げます。